

研究推進

+C（プラスシー） | 中央大学産学官連携プラットフォーム

Creative, Chance, Challenge, etc…

あなたの未来に+（プラス）したい“C”はなんですか？

「+C（プラスシー）」は、中央大学の研究者と産業界が、目指す未来や目標を共有し、その実現に向けて「いい関係」で連携するための情報プラットフォームです。産業界と大学、それぞれのリソースを活かして予測不可能な時代に夢を描き、「パートナー」としてともに新たな未来を描くことを目指し、研究者のビジョンや研究内容、実際の産学官連携事例についてリアリティをもってお伝えしています。

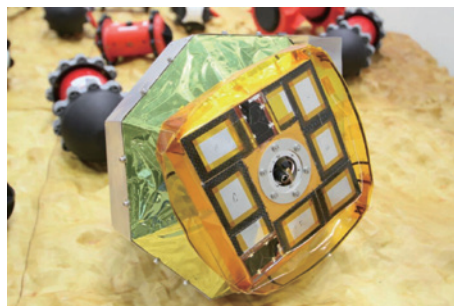


<https://plus-c.chuo-u.ac.jp/>

大型研究の支援 | 内閣府ムーンショット型研究開発制度プロジェクト

本学では、2022年度より、理工学部教授の國井康晴がプロジェクトマネージャーを務める内閣府ムーンショット型研究開発制度プロジェクト「未知未踏領域における拠点建築のための集団共有知能をもつ進化型ロボット群」を実施しています。國井研究室が参加していた前身プロジェクトのひとつで開発した超小型跳躍移動探査ローバ「LEV-1」(写真右)は、2024年1月にJAXAの小型月着陸実証機「SLIM」によって月に運ばれ、約38万km彼方の月面から地上との直接通信に成功するなど世界初の快挙を成し遂げています。「LEV-1」の成果を引き継ぐ現プロジェクトでは人間が居住可能な環境を探るべく、月の洞窟を集団生成型AIで自律的に探査

活動するシステムを研究開発中です。この探査を実現すべく、株式会社ispaceと本学との間で、開発した小型AIロボット群を月へ輸送するための技術検討に関する覚書を2025年3月に締結しました。



科学研究費助成事業の獲得推進

科学研究費助成事業は、人文学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」を格段に発展させることを目的とした、日本学術振興会・文部科学省によって運営される「競争的研究費制度」です。

本学では、科学研究費助成事業による研究活動を研究の更なる発展や研究成果の社会還元につながる活動と位置づけ、その獲得を推進し、本学における研究活動の活性化に取り組んでいます。

■ 2024 (令和6) 年度 科学研究費助成事業 採択状況一覧

研究種目	件数	助成金額 (千円)
学術変革領域研究 (A)	5	18,330
基盤研究 (A)	9	79,820
基盤研究 (B)	36	154,440
基盤研究 (C)	131	165,620
挑戦的研究 (開拓)	1	4,420
挑戦的研究 (萌芽)	7	17,680
若手研究	34	42,380
「基盤研究 (C)」及び「若手研究」における 独立基盤形成支援 (試行)	7	3,770
研究活動スタート支援	13	17,290
特別研究員奨励費	20	19,370
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化) ※	1	0
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (A)) ※	1	0
国際共同研究加速基金 (国際共同研究強化 (B))	4	8,840
研究成果公開促進費 (ひらめき☆ときめきサイエンス)	1	380
合 計	270	532,340

※継続課題であり、各課題ごとに助成金額を交付申請年度において一括計上しているため、当該年度助成金額はなし。(2025年3月31日時点)

研究戦略本部

研究戦略本部は、本大学における全学的な研究活動の活性化を図り、産業界や官公庁等の学外組織との連携を推進するため、2015年4月に設置された研究推進支援本部を起源としますが、本学の全学的な研究戦略に基づく研究推進、研究力強化を図るための司令塔として、2025年4月に「研究戦略本部」へと組織の機能強化を伴うリニューアルを行いました。今後は、多様な分野における卓越した研究を基盤とした学際的・分野融合的研究とともに、「社会実装、イノベーション創出」を活動の中心に据え、研究の立案からプロジェクト管理・運営や知的財産の管理、技術移転まで、迅速かつ柔軟な支援を行い、研究成果の社会還元を実現します。

2025年度には以下の6つの研究ユニットが新設されました

■都市水管理の共創研究

研究課題：都市における雨水管理と再生水利用技術に関する研究
専任研究員：古米弘明（機構教授）、西川可穂子（商学部教授）、山村寛（理工学部教授）

■大規模洪水時代の流域治水技術の研究プロジェクト

研究課題：大規模洪水時代の流域治水技術の開発とその実装
専任研究員：福岡捷二（機構教授）、樫山和男（理工学部教授）、手計太一（理工学部教授）、後藤勝洋（機構准教授）、後藤岳久（機構准教授）、竹村吉晴（機構准教授）

■生涯学習プラットフォーム研究開発ユニット

研究課題：学び方・働き方を繋ぐ生涯学習プラットフォームの構築と実践コミュニティ創出のための学習環境デザイン
専任研究員：眞鍋倫子（文学部教授）、佐藤智子（文学部准教授）、金亨善（機構助教）

■ソフトロボティクス/ソフトアクチュエータ研究開発ユニット

研究課題：ソフトロボットやソフトアクチュエータに関して実用化に向けた応用研究を行う
専任研究員：中村太郎（理工学部教授）、奥井学（理工学部准教授）、伊藤文臣（理工学部助教）、西濱里英（機構准教授）

■分子配向研究ユニット

研究課題：高性能有機光デバイスを目指した精密分子配向制御
専任研究員：池田富樹（機構教授）、片山建二（理工学部教授）、土肥徹次（理工学部教授）、藤井正明（機構教授）、栗原清二（機構教授）

■安全な大規模リンケージデータの構築可能性に関する研究ユニット

研究課題：公的大規模データのリンケージに関する方法論の追究および大規模リンケージデータにおける安全性と有用性の評価
専任研究員：伊藤伸介（経済学部教授）

■世界をリードする多彩な研究ユニット一覧

研究ユニット名	資金提供機関	ユニット責任者
高齢社会における信託活用のグランドデザインに関する研究ユニット	民間企業	新井 誠 研究開発機構・機構教授
新常態環境下の情報セキュリティに関する総合的研究	警察庁／民間企業	趙 晋輝 理工学部・教授
気象センサー等を活用した水災害科学・水災害情報研究展開ユニット	財団法人／民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
データサイエンスに基づく水環境の保全と創造・水防災技術の発展	民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
気候変動ユニット	環境省	渡邊 正孝 研究開発機構・機構教授
トランスレーショナル認知脳科学研究ユニット	日本学術振興会／民間企業	檀 一平太 理工学部・教授
進化型群AIロボット研究開発ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	國井 康晴 理工学部・教授
東京東部低地の水災害とその社会的影響	民間企業	平川 大貴 理工学部・教授
地盤環境総括ユニット	自主資金／民間企業	平川 大貴 理工学部・教授
AI・データサイエンス社会実装ラボ II	民間企業	鎌倉 稔成 研究開発機構・機構教授
スマートサウンドデザイン研究ユニット	民間企業	戸井 武司 理工学部・教授
生涯発達共生社会研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）／日本学術振興会	山口 真美 文学部・教授
リアルタイム洪水・氾濫予測研究開発ユニット	民間企業	山田 正 研究開発機構・機構教授
超高齢社会のインフラプロジェクト II	民間企業	谷下 雅義 理工学部・教授
沿岸域の持続可能性と革新を目指すデジタルツイン研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）／民間企業	有川 太郎 理工学部・教授
水・汚泥処理の脱炭素化・DX化・高度化ユニット	民間企業／文部科学省	山村 寛 理工学部・教授
ウォーターセーフティ研究ユニット	民間企業	石川 仁憲 研究開発機構・機構教授
安全・安心シンクタンク育成に関する研究調査ユニット	民間企業	大貫 裕之 法務研究科・教授
都市水管理の共創研究	港区共同研究／国際共同研究／民間企業／日本学術振興会	古米 弘明 研究開発機構・機構教授
大規模洪水時代の流域治水技術の研究プロジェクト	国土交通省／財団法人／民間企業	福岡 捷二 研究開発機構・機構教授
生涯学習プラットフォーム研究開発ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	眞鍋 倫子 文学部・教授
ソフトロボティクス/ソフトアクチュエータ研究開発ユニット	日本学術振興会／民間企業／NEDO	中村 太郎 理工学部・教授
分子配向研究ユニット	文部科学省／財団法人／民間企業／自主資金	池田 富樹 研究開発機構・機構教授
安全な大規模リンケージデータの構築可能性に関する研究ユニット	国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）	伊藤 伸介 経済学部・教授

研究開発機構

研究開発機構は、大学の研究に対する社会的需要、学際的複合的な研究の必要性が高まる中で、外部資金を利用した学際的共同研究を推進し、産官学の研究交流を実施するための機関として、1999年に設立されました。

研究活動は、プロジェクトごとに設立された研究ユニットで行われています。各ユニットは研究課題・目的・期間・条件を明確にして、外部資

金の範囲内で活動します。これにより、直面する社会的課題に対して、基礎的研究や独創的技術・理論における実際的な成果が期待できます。

研究開発機構の研究施設として、後楽園キャンパスに、個人研究室・共同機器室、会議室などを設けています。また、本機構では、情報ネットワークや事務サポート体制を整え、よりハイレベルな研究成果を創出するための支援を行っています。

 **研究開発機構**
Research and Development Initiative

<https://www.chuo-u.ac.jp/research/rdi/>

